



長洲町地域婦人会

1月21日、玉名市の玉名総合庁舎で行われた熊本県家庭教育支援功労者および家庭教育支援優良団体表彰の表彰式において、長洲町地域婦人会が家庭教育支援優良団体表彰を受賞した。

これは、保護者の学びの提供やひとり親家庭に対する支援、PTA活動の活性化、地域と家庭をつなぐ取り組みなど、家庭教育支援において功績のある個人や団体に対して表彰されるもので、今回、町内の小中学校における掃除指導や花壇への花植え作業、学力充実タイムでの答案へのマル付け作業の補助など、永年にわたる地域への教育支援活動が認められての受賞となる。

地域婦人会の田上蘭子会長は「先輩方が築いてこられた歴史を受け継いで当たり前のことを淡々とやっている中で、このように受賞できたことにびっくりしている。受賞することができてうれしい」と喜びを表す。

地域婦人会の歴史の原点は、昭和11年に発足した国防婦人会で、当時の会員数は約千人。活動の内容は、戦時下において「家庭を守ること」を第一とした取り組みが主であった。その現在の姿となる「長

洲町地域婦人会」は、町内の女性たちが集まって結成された団体で、現在、50代から80代までの約100人が活動している。活動の内容は、主に町内でのイベント時における料理の提供や献血に対する呼びかけ活動、複十字シールにおける募金活動など多岐にわたり、会員は「いろいろな活動をすることで地域での交流が図られることがうれしい。メリットを求めず、気楽に活動しています」と活き活きと楽しんで活動している。

「みんなで楽しんで、できるときにできる人ができる分だけする」ことをモットーに活動を続ける地域婦人会。

今後の課題は「会員数を減らさないようにすること。荒尾玉名管内でも婦人会自体が少なくなっているの、続けていくことが大切だと思っている。また、今、取り組んでいる事業のほかに新しいこともあれば挑戦していきたいと思う。無理をしないように続けていきたい」と会に対する思いを話す田上会長。

燃えるオレンジ色のTシャツに身を包み、これからも「長洲町地域婦人会」は、みんなで楽しみながら地域活動に取り組んでいく。